|仕様伺書| 対象形式:43AL1

お客様記入			弊社記入	営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴社名		機番			
お名前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。 標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

製造部門			
確認	設定		
機番			

■スケーリング設定

設定項目	設定可能範囲	設定値の意味	標準設定値	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
表示スケーリング値 A	-1999~9999	入力 4mA に対する表示値の設定	4.00		□ 確認済
表示スケーリング値 B	-1999~9999	入力 20mA に対する表示値の設定	20.00		□ 確認済

※記入例(入力信号:4~20mA 希望表示値:0.0~100.0%の場合) 標準設定値 ご指定出荷時設定値 設定項目 設定可能範囲 設定値の意味 表示スケーリング値 A -1999~9999 入力 4mA に対する表示値の設定 4.00 0. 0 100. 0 表示スケーリング値 B 入力 20mA に対する表示値の設定 $-1999 \sim 9999$ 20.00

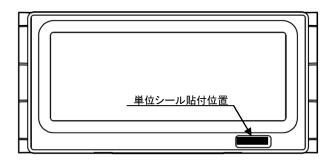
■表示設定

設定項目	設定可能範囲	設定値の意味	標準設定値	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
移動平均回数	AoFF	移動平均処理なし		☐ AoFF	
	A 2	移動平均2回	4 PP	□ A 2	
	A 4 移動平均 4 回		AoFF	□ A 4	□ 確認済
	A 8	移動平均8回		□ A 8	

■単位シールの貼付

設定項目	設定可能範	囲	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
単位シール	DC, AC, mV, V, kV, μ A, mA, A, kA, mW, W, kW, var, kvar, Mvar, VA, Hz, Ω , k Ω , M Ω , cm, mm, m, m/sec, mm/min, cm/min, m/min, m/h, m/s², inch, ℓ , ℓ /s, ℓ /min, ℓ /h, m³, m³/sec, m³/min, m³/h, Nm³/h, N·m, N/m², g, kg, kg/h, N, kN, Pa, kPa, MPa, t, t/h, °C, °F, %RH, J, kJ, MJ, rpm, sec, min, pH, %, ppm	単位の中から選択		単位シールの貼付無し	□ 確認済

※単位シールの貼付位置



■解説

- ①各種設定項目(表示スケーリング値 A、表示スケーリング値 B)の決定方法
- 1) 次に示す計算式で、SA(表示スケーリング値A)とSB(表示スケーリング値B)を計算します。

※スケーリング設定の計算式

SA = (Rz · Dspan + Dz · Is - Ds · Iz) / Ispan SB = (Rs · Dspan + Dz · Is - Ds · Iz) / Ispan

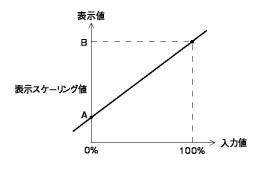
Iz: 入力信号 0% Is: 入力信号 100% Dz: 希望表示値 0% Ds: 希望表示値 100% Rz: 測定レンジ 0% Rs: 測定レンジ 100%

Dspan:表示スパン (Ds-Dz) Ispan:入力スパン (Is-Iz)

- 2) 計算した、SA、SB の結果が、設定可能範囲内 (-1999~9999) にあるかを確認します。 Rz=Dz かつ、Ds=Rs の条件であれば計算しません。確認不要です。
- 3) 設定可能範囲を越えていれば希望表示値の桁数を減らして、再度、計算します。 この様にして、範囲内になるよう桁数を調整した結果を、本仕様何書に記入します。 設定可能範囲を越えていなければ、そのまま、計算した結果を記入します。
- ②正スケーリング、逆スケーリングの違い

正スケーリング

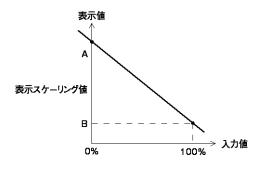
入力値が増加するに従い、表示値が増加します。



ightarrow この場合、表示スケーリング値 A < 表示スケーリング値 B の条件となります。

・逆スケーリング

入力値が増加するに従い、表示値が減少します。



 \rightarrow この場合、表示スケーリング値 A > 表示スケーリング値 B の条件となります。